

政策	32 安全安心な暮らしの確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
基本施策目的	市民を犯罪や交通事故から守り、消費者の利益を擁護する取り組みを推進し、誰もが安全・安心に暮らせる環境整備を図る						
成果指標	年間犯罪件数 年間交通事故件数 消費者行政への市民満足度						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ 件 ]	予定	1,567.00	1,535.00	1,505.00	1,475.00	1,450.00
		実績	1,242.00				
	成果指標2 [ 件 ]	予定	521.00	505.00	485.00	470.00	450.00
		実績	479.00				
	成果指標3 [ % ]	予定					50.00
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	568,404	0	0	0	0	
	実績	507,597	0	0	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す安全安心で快適に暮らせるまちづくりを進めるうえで、本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	犯罪件数、交通事故件数ともに目標に達した。また、(H24年度)消費者行政満足度を調査したところ「満足・どちらかといえば満足」が20.6%であった。					
	課題	交通安全や防犯対策が各分野で実施され、連携が図られていない。また、消費者行政は市民が主体的に行動できるよう消費者教育を推進し、情報提供をしていく必要がある。					
	取組方針	防犯、交通安全、消費者利益の擁護のため、関係機関団体との連携を強化し、様々な機会を捉え、周知、啓発活動を実施し、市民の意識高揚を図る。					
外部評価	<p>成果指標の「年間犯罪件数」については目標値を大きく上回っているが、今後の大幅な件数増加を予想しての設定なのか、数値目標の設定について再検討願う。</p> <p>成果指標はどちらも達成されているが、この2つの事業の達成に満足することなく、その他有効な防犯対策の推進も図りたい。</p> <p>特に、鉄道駅周辺は人が多く集まることから、防犯対策を強化してほしい。</p> <p>本施策の目的を達成するためには、市民との協働なくしては実現できないと考える。そこで、安全安心に関するスローガンや標語等を募集し、街頭に掲げるなどして、市民自らが市民を守る意識づくりを高めるとともに、本評価表内に掲げた市の取組方針の実践に期待する。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	3201	防犯・交通安全対策の充実				475,335	100
	3202	市民相談の充実				12,373	66
	3203	消費生活の安定と向上				19,889	50